

## 第4学年体育科学習指導案

日 時 平成27年10月23日(金) 5校時  
児 童 4年2組 男19名 女18名 計37名  
指導者 千葉 秀彦

### 個人課題

運動することを楽しむ子どもの育成  
—友だちと学び合う活動を通して—

## 1 単元名 チャレンジとび箱運動 (B 器械運動 ウ 跳び箱運動)

### 2 単元について

#### (1) 児童について

本学級の児童は、体育の授業が好きと答える児童が多いが、一方で運動経験の豊富な児童と経験不足の児童の二極化が進んでいる。体育の授業だけでなく、進んで自分の意見を言える児童とそうでない児童に分かれていて、意思表示がはっきりしない子どもが多い。人間関係にも幼さが見られ、みんなと仲良く協力したり、互いに高め合ったりする気持ちが弱いと感じられる。これらのことを改善していくためには、触れ合ったり、声を掛け合ったりする具体的な活動の中で、協力するよさや互いのよさに気付き、思いを共有することが大切と考える。そのために体育の授業を通して、友だちと学び合うことの大切さを学ばせたい。

児童は、一学期にマット運動、前転、開脚前転、補助倒立を経験してきた。どの児童もできる技からスタートして、さらに技を高める活動に取り組んできたが、完成度はまだ低い。しかし、意欲的に学習を進めることができたし、グループで学び合う楽しさを感じることができた。また、体育の授業のふりかえりを大事にしたいと考えて、4月から体育ノートの取り組みを行っている。体育の記録や、活動のふり返しを書くことで自分自身を振り返りながら活動をつなげてきている。

#### (2) 教材について

「器械運動」は、マット、鉄棒、跳び箱などの器械器具を使って「技」に挑戦し、その達成の楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。「器械運動の楽しさは、「できそうな技に挑戦したり、できる技を繰り返したりしてできるようになることを楽しむ。」という達成の楽しさが中心となる。

本単元では、開脚とび、かかえこみとび、台上前転の3つを取り上げていく。今までの開脚とびの技から、かかえこみとび、台上前転に取り組ませる。どちらかといえば、個人の技能習得の楽しさが中心の教材だが、技に得点を付けることで、互いに教え合う観点をはっきりさせ、自分の向上とグループ全体の向上が見えるようにしていきたい。グループ学習で技の練習方法を考え、協力し合って学習を進めさせていきたい。準備運動では技のもとになる動きを取り入れて、スムーズに活動につなげていきたい。

### 3 目標

#### <関心・意欲・態度>

- ・きまりを守って友だちと協力しながら跳び箱運動に取り組もうとする。
- ・準備や片付けなど安全を確かめながら運動しようとする。

#### <思考・判断>

- ・開脚跳びや台上前転の技のコツがわかり、自分の課題にあった練習方法や練習の場を選び、工夫して活動している。

#### <技能>

- ・基本的な技の開脚とびと台上前転ができる。
- ・発展技のかかえこみとびと大きな台上前転ができる。

4 単元計画 (5 時間計画)

	1	2	3	4 (本時)	5
10	オリエンテーション できる技の確認と準備の確認	準備と準備運動			
35		グループ練習 1 (○が重点技) ○開脚跳び かかえこみ跳び 台上前転	開脚跳び ○かかえこみ跳び 台上前転	開脚跳び かかえこみ跳び ○台上前転	発表会 準備
45		グループ練習 2 練習を工夫する時間 教え合う時間	グループ練習 2 練習を工夫する時間 教え合う時間	グループ練習 2 練習を工夫する時間 教え合う時間	
	ふりかえりと後始末				

5 場の設定

グループの中で見る視点を明確にして学び合う

学び合いで見る視点

練習の場の工夫

前転の練習をする

マット  
ここから前転

低いとび箱で練習  
まげまげピン 踏切の練習

2段

助走なしでやってみる

2段

6 本時の指導 4/5

(1) 目標

- ・技のコツがわかり、自分の力にあった練習方法で活動することができる。(思考・判断)
- ・開脚跳び、かかえこみ跳び、台上前転ができる。(技能)

(2) 個人課題や共通課題とのつながり

★進んで運動することを楽しむ児童の育成

☆視点1 学習意欲 (学習カード) 自分の向上が見えるようにすることで意欲付けをする。  
技の得点を決めて、自分の上達が見えるようにする。

☆視点2 学び合い (グループ学習) 友だちの向上を喜び一緒に運動する楽しさを味わう。  
技のコツを設定することにより視点はっきりさせアドバイスをひきだす。

(3) 展開

段階	学習活動	指導の留意点・手立て	備考
導入	<p>1 あいさつと準備</p> <p>2 学習内容の確認 本時のめあて</p> <p>グループで技の得点をアップさせよう。</p> <p>3 準備運動</p>	<p>○手際よく準備させる。</p> <p>☆視点1 意欲 グループの点数を確認し、自分の技の得点を上げる意欲をもつ。</p> <p>○馬跳び カエルの足うち うさぎ跳び</p>	マ ッ ト C D
展開	<p>4 グループ練習1 開脚とび、かかえこみとび、台上前転を練習する。 台上前転の動画を見てコツを確認してグループでやってみる。</p> <p>5 グループ練習2 台上前転の練習をグループで取り組む。</p> <p>6 上達を確認する ペアグループで互いを見合ってアドバイスをもらう。</p>	<p>■ 評価 開脚とび、かかえこみとびができたか(観察, 学習カードへの記入)(技能)</p> <p>☆視点2 学び合い 見合うポイントを決める。</p> <p>○手のつき方, 頭のつき方を確認する。</p> <p>☆視点2 学び合い 技のコツを使った練習の場を設定する。</p> <p>○練習の場を3つ設定する。</p> <p>■ 評価 自分のめあてに合わせて, 場所を選んで練習できているか(観察, 学習カードへの記述)(思考・判断)</p>	
終末	<p>7 学習の振り返り</p> <p>8 あいさつと後片付け</p>	<p>○今日の振り返りをする。 カードに記入する</p>	

☆共通課題にかかわって ★個人研究にかかわって ■評価(評価方法) ○手立て(留意点)